

保護者・生徒の皆様へ

新型コロナウイルス感染が拡大するなか、栃木県では、令和2年12月29日に警戒度レベルが「特定警戒」に引き上げられ、県民に対し不要不急の外出自粛が要請されています。

また昨日、教育長から、感染リスクが高い学習活動を控えた上で、通常登校を継続するという方針が出されました。

そこで、次のとおり、本校としての新型コロナウイルス感染防止対策をとりまとめましたので、保護者と生徒の皆様方におかれましても、この対応へのご理解とご協力をお願いいたします。

県立真岡女子高等学校長 星 尚志

警戒度レベル 「特定警戒」 における本校の対応

2021/1/5 県立真岡女子高等学校

- 健康観察 (1)毎朝の検温、健康観察を入念に行う
(2)体調不良時は登校しない(出席停止扱い)

- 授業中 (1)感染リスクの高い学習活動を控える
→グループワーク、大声による発声を伴う活動、共用する用具の消毒等
(2)窓の開閉により換気を徹底する

- 部活動 (1)他校との練習試合等(県内、県外を問わず)は当分の間実施しない
(2)関東大会、全国大会への参加については主催者の感染防止策を踏まえ、関係機関と連携して慎重に判断する。
(3)練習の効率を上げ、可能な限り活動時間の短縮に努める。
(4)部活動開始時の健康観察(検温等)を徹底する
(5)感染リスクの高い活動は控える
(6)用具等の消毒の徹底
(7)部室における「三密」の回避と衛生管理(消毒等)

- その他 (1)マスク着用、手指消毒や手洗いの励行
(2)ドアノブ等共用部分の消毒の徹底
(3)昼食時の歓談自粛